

令和8年度 全国学力・学習状況調査の結果（詳細版）のポイント

①令和8年度 全国学力・学習状況調査の概要

令和8年9月

大阪市教育委員会事務局

調査の目的 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、

- ・全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査概要

調査実施日	令和8年4月20日（月）～5月29日（金） ※中学校英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」4月20日（月）～23日（木） 「話すこと」当日実施：4月24日（金）・27日（月） 期間内実施：4月28日（火）～5月29日（金）
調査対象	①小学校第6学年・義務教育学校前期課程第6学年の全児童 小学校 282校 17,346人（※小学校に義務教育学校前期課程1校を含む） ②中学校第3学年・義務教育学校後期課程第3学年の全生徒 中学校 131校 15,141人（※中学校に義務教育学校後期課程1校を含む） ※後日実施や別室受検等の諸事情により全体集計の対象外として個人票のみを発行した児童生徒（以下、当該児童生徒という）は含みません。次ページ以降の集計値やグラフに当該児童生徒を集計した値は含めておりません。
調査事項	① 児童生徒：教科調査【国語、算数・数学、英語（中学校のみ）】 / 質問調査 ② 学 校：質問調査
調査問題	・学習指導要領で育成をめざす、知識及び技能や思考力、判断力、表現力等を問う問題を出題 ・「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善のメッセージを発信
今年度の調査の特徴	・中学校英語4技能（「聞くこと」「読むこと」「書くこと」「話すこと」）の全面CBT化 ・小学校児童質問でのランダム方式の導入

本市の
平均正答数（率）
・平均IRTスコア

小学校

国語

7.7/13問
(59%)

算数

9.0/16問
(56%)

中学校

国語

9.0/15問
(60%)

数学

8.8/16問
(55%)

英語（※）

499(499)
※4技能IRTスコア
()内は3技能(参考)



② 教科に関する調査結果(国語)

※本資料における「全国」の数値は、「全国(公立)」の数値を掲載しています。
※各教科における全体の結果概要、成果、本資料で説明していない課題等については、公表資料【詳細版】に掲載しています。

R8

【小・国】「書くこと」において、引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題が見られた。

→引用の目的を明確にした上で、必要な語句や文を適切に抜き出し、自分の考えが伝わるように書く指導を行うことが重要。

【中・国】文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることに課題が見られた。

→文章の大まかな内容について自分の考えを述べるだけでなく、その文章の内容についてどのように解釈したか確かめる指導を行うことが重要。

小学校国語 大問2(四)

○【花山さんの文章の続き】の空欄に入る内容を、【集めた情報】から抜き出して考えが伝わるように書く。

○【集めた情報】の中から、本の題名と本文の一部の内容を選んで、抜き出して書いていない誤答が多く見られる。

○ぬき出した内容をもとに、すずしく過ごせる衣服の色について考えたことを書くこと。

○百四十文字以内にまとめて書くこと。

涼しく過ごせる衣服の色について考えたことを書いているが、【集めた情報】の中から、本の題名と本文の一部の内容を選んで、抜き出して書いていない誤答が多く見られる。

【集めた情報】の内容を自分の考えのように書いたり、引用した部分と自分の考えとの関係を明確にし、区別して書いたりすることができなかった児童がいたと考えられる。

【花山さんの文章の続き】

4 すずしく過ごせる衣服の色は何色か
「色の効果」という本には、「青は海や水を連想させ、すずしくように見える。」と書かれている。青や水色などひんやりとしたイメージのある色の服を着ることで、長そででもすずしく過ごすことができそうだ。

また、

5 終わりに
これまでなんとなく選んでいた衣服も、日差しをさえぎるくふうや、衣服の形、着方、色をくふうすることによって快適に過ごせることが分かった。今回分かったことを生かし、これからの生活の中で衣服をくふうしていきたい。

(参考文けん)

【集めた情報】

本の題名	本文の一部
色の効果	青は海や水を連想させ、すずしくように見える。白は雪の色であり、冷たい印象がある。赤があたたかく感じられるのは、太陽や火を連想させるからだ。
生活と太陽	白は熱や光を反射する色のため、熱くなりにくい。一方、黒は熱や光をきゅうしゅうし、熱くなりやすい。
夏のくらし方	白やうすい青はさわやかに見え、すずしく感じます。さらに、着ているだけでなく、周りの人にもすずしさを感じさせます。

花山さんは、【集めた情報】をもとに、「すずしく過ごせる衣服の色は何色か」について考えたことを【花山さんの文章の続き】に書いています。あなたが花山さんなら、□に入る内容を、どのよう書きましよう。

中学校国語 大問4(四)

○二つの例文を比べながら、擬態語「きっぱり」が表している具体的な様子と擬態語の効果を書く。

条件1
「例文2」の擬態語「きっぱり」がどのような様子を表しているかを具体的に書くこと。

条件2
条件1で書いたことを踏まえて、擬態語の効果について、本文中の言葉を使って書くこと。

誤答では、条件1は満たしているが、条件2を満たさずに解答している解答が多く見られた。

大阪市 37.1%
全国(公立) 35.1%



【例文2】(擬態語を使った例文)

「いいえ。たくさん練習してきたから大丈夫です。」
生徒はきっぱりと言った。

【具体的な場面】

【例文1】(擬態語を使っていない例文)

「いいえ。たくさん練習してきたから大丈夫です。」
生徒は言った。

林さんは、本文を読んで理解したことをより深めるために、(具体的な場面)を思い浮かべながら、二種類の例文を書いてみた。あなたは【例文1】と【例文2】を比べて、擬態語にはどのような効果があると考えますか。あとの条件1と条件2にしたがつて書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

【正答例】
正答率
(大阪市) 31.3%
(全国) 33.5%

【誤答例】

「生活と太陽」という本には、「白は熱や光を反射する色のため、熱くなりやすい。一方、黒は熱や光をきゅうしゅうし、熱くなりやすい。」と書かれている。特に強い日差しが照りつけるえん天下では、黒い服より白い服を着る方が、すずしく過ごすことができそうだ。(123字)

白は雪の色であり、冷たい印象がある。また、白色や青色の衣服は着ている人だけでなく、周りの人にもすずしさを感じさせることができる。(64字)
無解答率5.4% (全国(公立) 5.2%)

【正答例】
正答率
(大阪市) 33.9%
(全国) 38.9%

【誤答例】

「きっぱり」は、生徒が先生に向かって、自信を持って力強く言い切っている様子を表している。このように、擬態語は話している様子の包括的なイメージを表現することができる。

「きっぱり」という擬態語を使うことによって生徒がたくさん練習をしてきて、発表に自信があるように感じさせる効果がある。
無解答率20.4% (全国(公立) 18.6%)

② 教科に関する調査結果(算数・数学)

※本資料における「全国」の数値は、「全国(公立)」の数値を掲載しています。
 ※各教科における全体の結果概要、成果、本資料で説明していない課題等については、公表資料【詳細版】に掲載しています。

R8

【小・算】単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解し、商から二つの広場のどちらが混んでいるか判断することに課題が見られた。
 →混み具合のような、一つの数量だけでは比べられない日常生活や身近な事象をもとに、関わりのある二つの要素を見出し、どちらか一方の量をそろえる必要性を感じさせる活動を取り入れることが重要。

【中・数】データの傾向を的確に捉え、判断の理由を度数分布多角形の特徴を基にデータの分布の傾向を読み取り、説明することに課題が見られた。

→データの分布の傾向を比較してその特徴を捉え、数学的な表現を用いて説明する活動を取り入れることが重要。

小学校算数 大問2(3)

○ペンギンがいる二つの広場の混み具合を求める式の意味について、正しいものを選ぶ。

AとBの2つのペン軍の広場があります。下の表は、広場にいるペンギンの数と広場の面積を表しています。

広場にいるペンギンの数と広場の面積

	ペンギンの数(羽)	面積(m ²)
A	10	20
B	12	30

ことねさんは、どちらの広場の方がこんでいるのかを調べるために、下の計算をしました。

【ことねさんの計算】

$$A \quad 10 \div 20 = 0.5$$

$$B \quad 12 \div 30 = 0.4$$

【ことねさんの計算】をもとに、どちらの広場の方がこんでいるのかについて、下のようにまとめます。下のアとイ、ウとエの中から、正しいものをそれぞれ選んで、その記号を書きましょう。

【ことねさんの計算】は

ア 1㎡あたりのペンギンの数
イ 1羽あたりの面積

を求めています。

商を比べると

ウ 商が大きいAの広場
エ 商が小さいBの広場

の方がこんでいることがわかります。

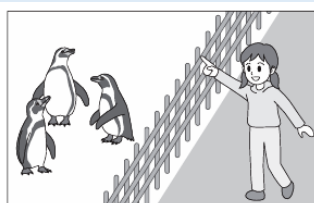
【正答】

正答率
(大阪市) 34.7%
(全国) 36.1%

ア と ウ を選択

【誤答例】

ア・エを選択 …14.6% イ・ウを選択 …23.3%
 イ・エを選択 …23.7%
 その他・無解答の合計 …3.7%



示された除法の式が「1㎡あたりのペンギンの数」なのか、「ペンギン1羽あたりの面積」なのかを判断することに課題が見られる。アを選んだ割合は49.3%であり、およそ半分の児童が式の意味を正しく選択できていないといえる。なお、アを選んだ49.3%のうち正答は34.7%であることから、式の意味を正しく選択した児童のうち、商をもとにどちらがより混んでいるか正しく選択できている児童は約7割である。

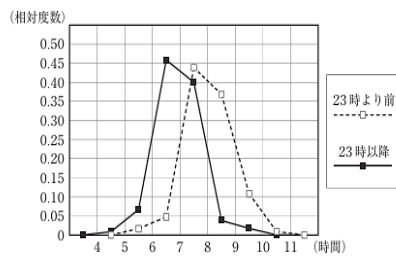
中学校数学 大問9(3)

○「就寝時刻が23時より前の生徒と比べて、23時以降の生徒の方が睡眠時間が短い傾向にある」と主張できる理由を、「悠真さんが調べたこと」の二つの度数分布多角形の形と位置を比較して説明する。

二人は、睡眠時間の特徴をさらに知りたいと思い、全校生徒を次のように分け、睡眠時間の分布の傾向を調べることにしました。

悠真さんが調べたこと

就寝時刻が23時より前の生徒…152人
 就寝時刻が23時以降の生徒…148人



悠真さんが調べたことの2つの度数分布多角形を比較すると、「就寝時刻が23時より前の生徒と比べて、23時以降の生徒の方が睡眠時間が短い傾向にある」と主張することができます。そのように主張することができ理由を、悠真さんが調べたことの2つの度数分布多角形の形と位置を比較して説明します。前ページの桃音さんのまとめを参考にして、下の説明を完成しなさい。

説明

したがって、就寝時刻が23時より前の生徒と比べて、23時以降の生徒の方が睡眠時間が短い傾向にある。

正答の条件

次の(a),(b)について記述しているもの。

- (a) 就寝時刻が23時より前の生徒の度数分布多角形と就寝時刻が23時以降の度数分布多角形が同じような形であること。
 (b) 就寝時刻が23時より前の生徒の度数分布多角形よりも就寝時刻が23時以降の度数分布多角形の方が左側にあること。

20.6%の生徒が(a)のみの記述にとどまっている。

【正答例】

正答率
(大阪市) 28.3%
(全国) 31.9%

2つの度数分布多角形が同じような形で、就寝時刻が23時より前の生徒の度数分布多角形よりも、就寝時刻が23時以降の生徒の度数分布多角形の方が左側にある。

【誤答例】

・2つの度数分布多角形が同じような形である。
 ・度数分布多角形について、23時以降のグラフが前にある。
 無解答率…32.1%(全国(公立)28.9%)

② 教科に関する調査結果（英語）

※本資料における「全国」の数値は、「全国（公立）」の数値を掲載しています。
※各教科における全体の結果概要、成果、本資料で説明していない課題等については、公表資料【詳細版】に掲載しています。

R8

①社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉えることに課題が見られた。

→意見を述べる表現や例示のための表現などに着目し、文章を読んだ後に「書き手が最も伝えたいことは何か」「なぜそう考えたのか」を話し合う活動を通して、要点を捉えられるように指導することが重要である。

②社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことに課題が見られた。

→文章を読んで要点を確認した後、自分の考えをキーワードとしてメモや思考ツールに整理させる活動や、書き手の意見に対する考えとその理由を話した後、その内容を1～2文程度で書くことの活動を繰り返すことが重要である。

中学校英語 大問10(1)

○インターネットの使用に関する文章を読み、書き手が最も伝えたいことを選択する。

(1)【まいこが書いた文章】を読み、まいこが最も伝えたいことを、＜解答欄＞の1から4までの中から1つ選びなさい。

【まいこが書いた文章】 中学生の現状 まいこが最も伝えたいこと

Today, many junior high school students use the internet to play games. However, I think we should use the internet for learning more often because it is useful. For example, there are many good videos for learning English. They are easy to understand. Also, there are many good dictionaries on the internet. We can find the meaning of an English word quickly. Do you think my opinion is good?

→具体例

＜解答欄＞

- ☐ O1 Many junior high school students use the internet to play games.
☒ O2 Junior high school students should use the internet for learning more often.
☐ O3 There are many good videos for learning English.
☐ O4 We can find the meaning of an English word quickly.

IRTバンド3に属する生徒は、3割以上が解答類型4を選択していた。

⇒文章における「書き手が最も伝えたいこと」と「その具体例」との関係を十分に捉えられていない可能性がある。

【正答】
正答率
(大阪市) 47.5%
(全国) 45.9%

2
(Junior high school students should use the internet for learning more often.)

【誤答例】

- ・IRTバンド1の約4割、IRTバンド2の3割以上が解答類型3を選択
- ・IRTバンド1・2の2割以上、IRTバンド3の3割以上が解答類型4を選択

＜IRTバンドごとの割合(%)＞

	1	2	3	4	5
類型1	15.3	15.0	9.6	1.9	0
類型2	16.0	28.0	36.4	75.9	97.4
類型3	41.4	34.3	22.8	5.3	0.4
類型4	25.8	22.5	31.1	16.8	2.2
無解答	1.5	0.3	0.1	0	0

中学校英語 大問10(2)

○インターネットの使用に関して読んだことについて、考えとその理由を書く。

(2) まいこの質問に対する「あなたの考え」と「なぜそう考えるのか」を、英語で書きなさい。
【まいこが書いた文章】にある表現を使って書いてもかまいません。

＜解答欄＞ ※半角で入力してください。

Do you think my opinion is good?

あなたの考え

なぜそう考えるのか

IRTバンド1に属する生徒の4割以上、およびIRTバンド2に属する生徒の約3割が無解答である。

⇒「文章の内容が読み取れず、書くべきことが分からなかった」「文章の内容は読み取ることができたが、何を書いたらよいのか思い浮かばなかった」「文章の内容は読み取ることができ、書く内容も思い浮かんだが、英語の表現が分からなかった」などが書くことができなかった要因として考えられる。

IRTバンド3に属する生徒の4割以上、およびIRTバンド4に属する生徒の約4割が誤答である解答類型3の解答をしている。

⇒自分の考えを支える理由を書くことに課題があると考えられる。

【正答の条件】

条件① 書き手の意見に対する自分の考えを書いている。

＜解答欄＞の「あなたの考え」に該当する部分

条件② 条件①の理由を書いている。

＜解答欄＞の「なぜそう考えるのか」に該当する部分

【正答例】

正答率

(大阪市) 27.8%

(全国) 28.0%

Your opinion is good.
Students can get a lot of information for learning on the internet.

【誤答例】

＜解答類型3(条件①を満たし、条件②を満たさずに解答しているもの)の例＞
I think your opinion is good. I think students will find is very good.

＜IRTバンドごとの割合(%)＞

	1	2	3	4	5
類型1	0.2	4.4	18	45.4	75.6
類型2	0.4	1.5	4.4	9.2	10.5
類型3	16.6	25.6	46.1	40.7	13.8
類型4	10.7	13.5	8.5	1.4	0
類型5	2.4	2.4	2.5	1.3	0.1
類型6	0.2	0.4	0.2	0.1	0
類型7	17.1	17.6	9.1	1.3	0
上記以外	10.3	5.6	0.9	0.1	0
無解答	42	29.1	10.2	0.7	0



学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動の取組①

主体的・対話的で深い学びの 視点からの授業改善

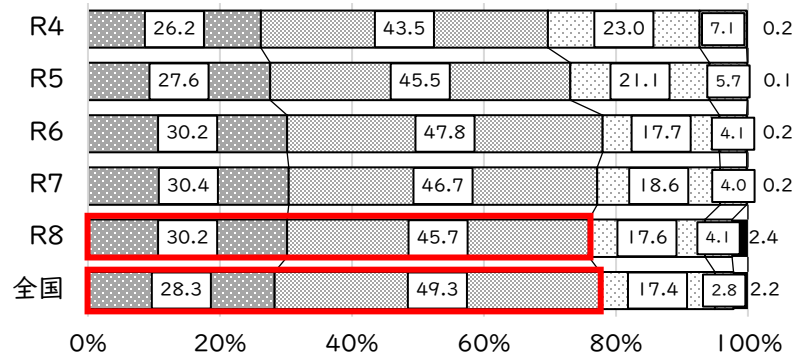
児童生徒質問項目〔39〕

「5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。」

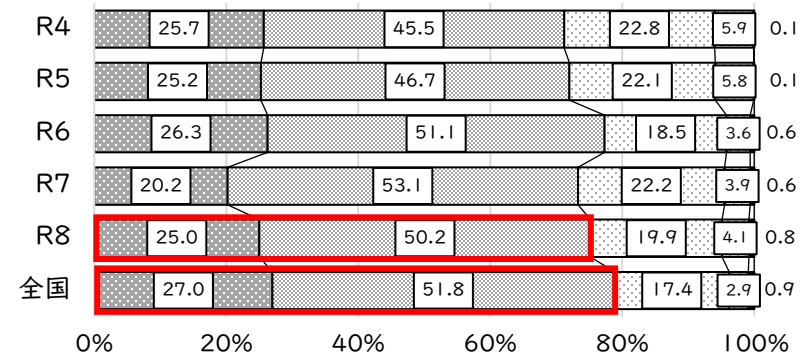
- ・肯定的に回答した児童生徒の割合は、昨年度と比較すると、小学校でやや減少し、中学校でやや増加しており、全国と比較すると、小中学校ともにやや下回っています。
- ・肯定的に回答している児童生徒ほど、小中学校ともにいずれの教科でも平均正答率(中学校英語は平均IRTスコア)が高い傾向が見られます。

■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる □どちらかといえば、当てはまらない □当てはまらない ■その他・無回答

【小学校】

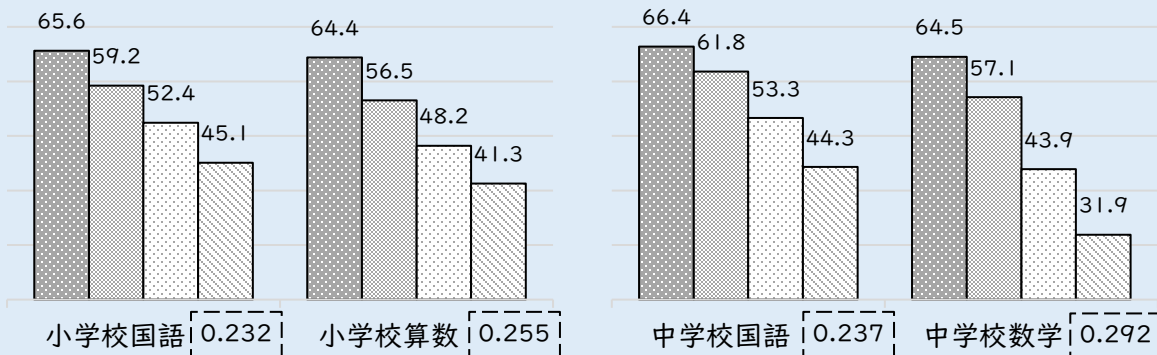


【中学校】



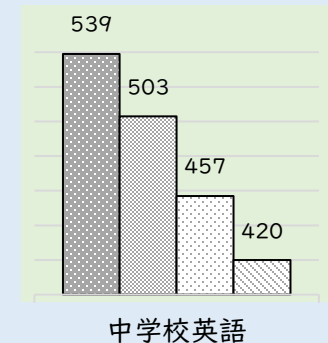
【選択肢ごとの教科の平均正答率(中学校英語は平均IRTスコア)】

クロス集計



※「」内の数値は相関係数を示しています。

※中学校英語においては、文部科学省より生徒個人のIRTスコアが提供されていないため、相関係数を算出することができません。



学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動の取組②

主体的・対話的で深い学び × GIGA

主体的・対話的で深い学び

児童生徒質問[39]

「5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。」

主○: 当てはまる(又は)どちらかといえば、当てはまる

主×: どちらかといえば、当てはまらない(又は)当てはまらない

ICT活用の自信

児童生徒質問[36-4]

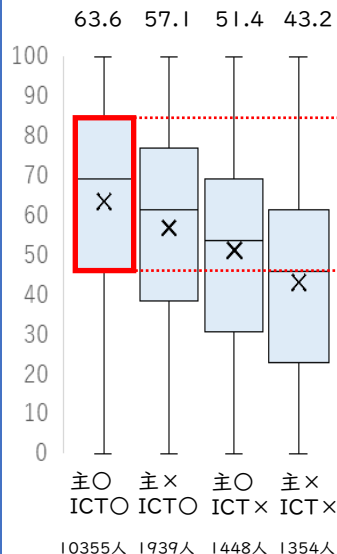
「あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校での活動でプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができますか。」

ICT○: そう思う(又は)どちらかといえば、そう思う

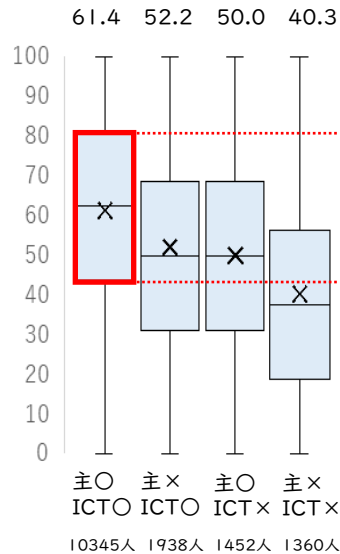
ICT×: どちらかといえば、そう思わない(又は)そう思わない

「各教科の正答率」

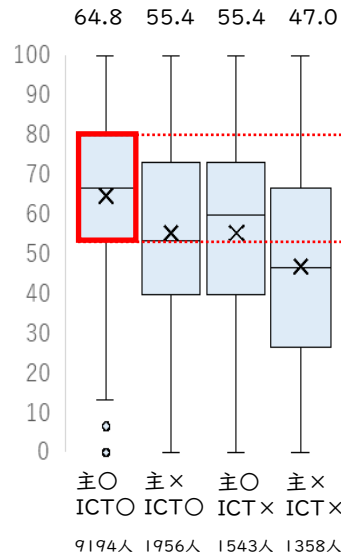
【小学校国語】



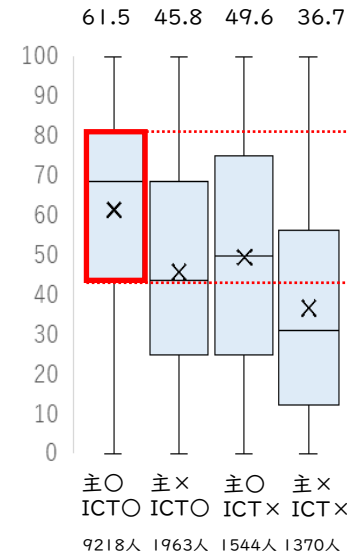
【小学校算数】



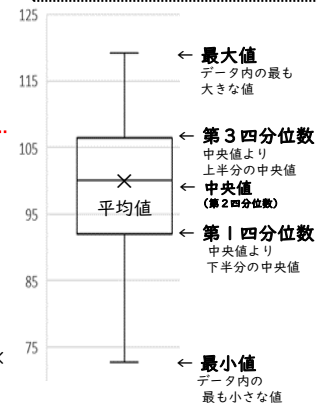
【中学校国語】



【中学校数学】



箱ひげ図は、中央値や四分位値といった統計量を示すことで、データがどのように分布しているかを可視化している。



いずれの教科においても、主体的・対話的で深い学びに取り組み、ICT活用に自信があるグループ(以下、「主○ICT○グループ」とする)は、正答率を表す箱ひげ図が最も上の位置にあり、主○ICT○グループの正答率は、他のグループの正答率よりも高い傾向が見られます。

学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動の取組③

※「」内の数値は相関係数を示しています。

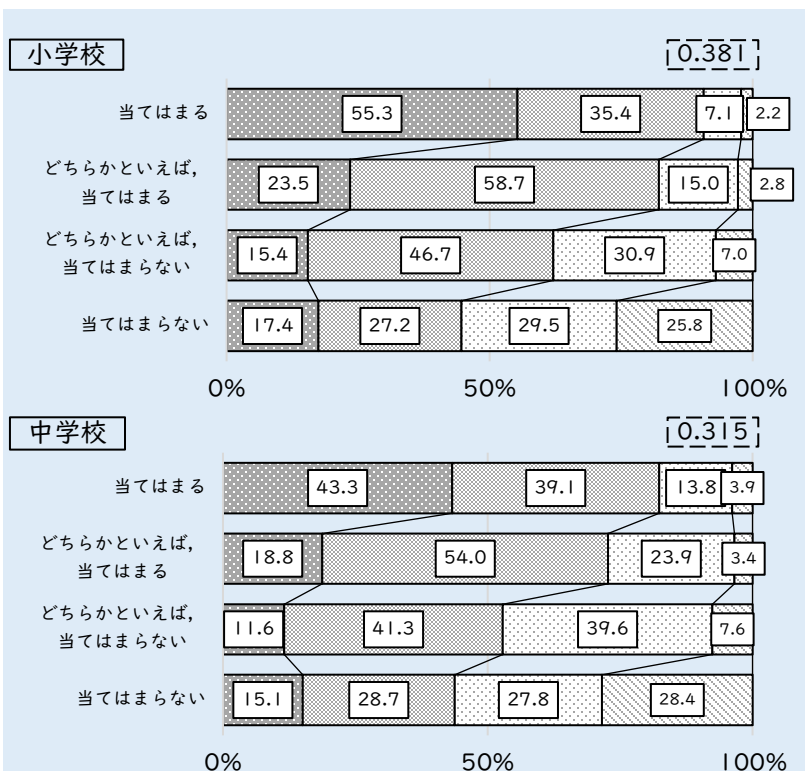
クロス
集計
(児童生徒)

「総合的な学習の時間の充実」×「挑戦心」

児童生徒質問項目「18-2」【新規】

「課題が難しくなると、さらに努力していますか。」

- 当てはまる
□ どちらかといえば、当てはまる
□ どちらかといえば、当てはまらない
□ 当てはまらない



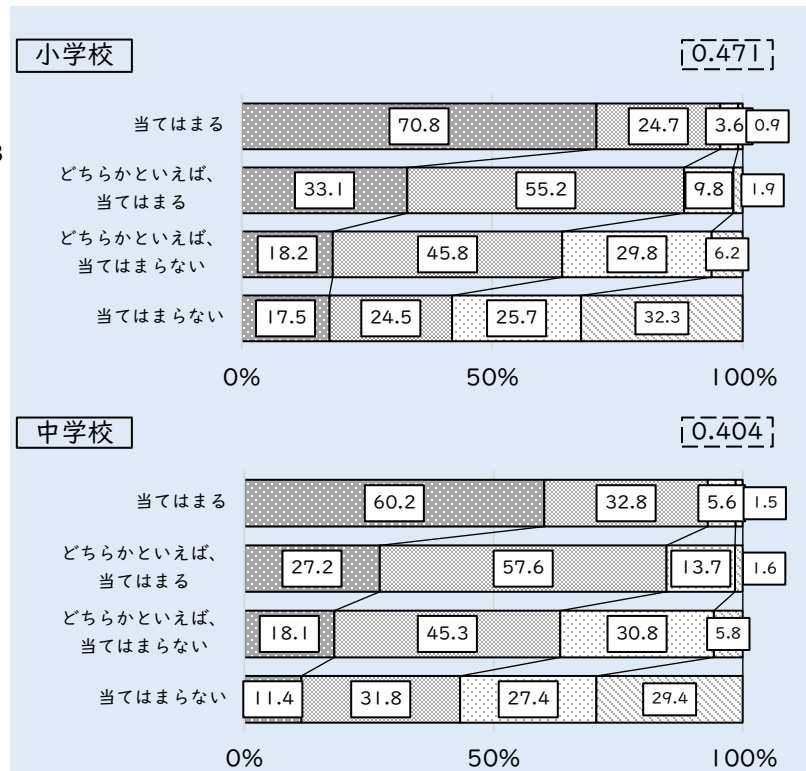
クロス
集計
(児童生徒)

「学びの主体的な調整」×「好奇心」

児童生徒質問項目「19-2」【新規】

「新しいことを学ぶのは好きですか。」

- 当てはまる
□ どちらかといえば、当てはまる
□ どちらかといえば、当てはまらない
□ 当てはまらない



「総合的な学習の時間における学習活動に取り組むこと」「学びの主体的な調整」に関する質問項目に肯定的に回答をする児童生徒ほど、「挑戦心・好奇心」に関する質問項目に肯定的に回答する傾向が見られます。

児童生徒のウェルビーイング①

先生とのかかわり

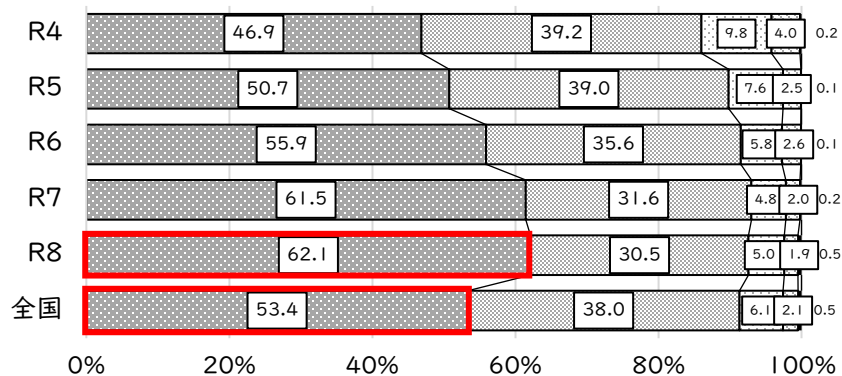
児童生徒質問項目〔9〕

「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。」

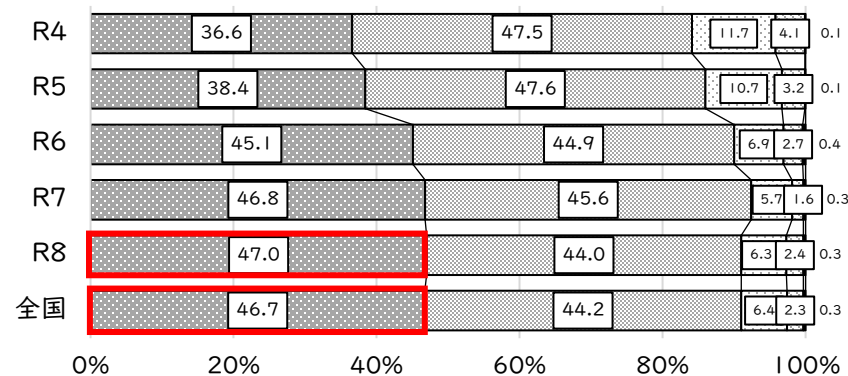
「当てはまる」と回答した児童生徒の割合は、小学校ではやや増加し、全国と比較すると、小学校では上回っています。

■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる □どちらかといえば、当てはまらない □当てはまらない ■その他・無回答

【小学校】



【中学校】



心理的安全性

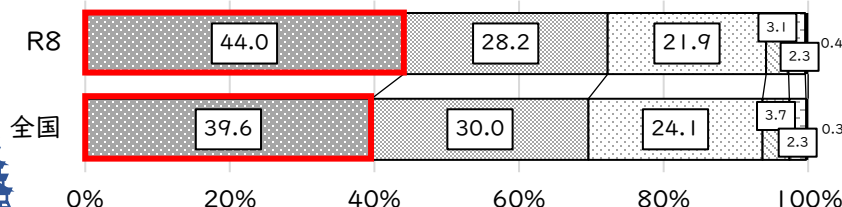
児童生徒質問項目〔20〕【新規】

「あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか。」

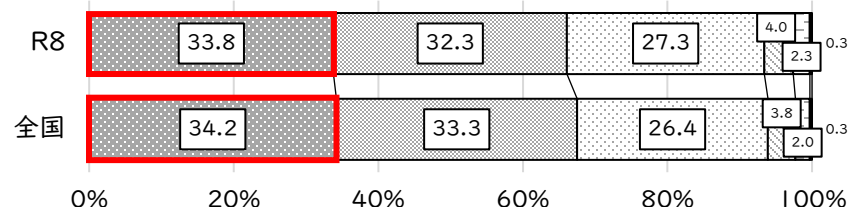
「当てはまる」と回答した児童生徒の割合は、全国と比較すると、小学校ではやや上回っています。

■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる □どちらともいえない □どちらかといえば、当てはまらない □当てはまらない ■その他・無回答

【小学校】



【中学校】



児童生徒のウェルビーイング②

教師によるサポートと心理的安全性に基づく授業改善が対話を促し、学校での学びをより豊かにし、子どもたち一人一人のウェルビーイングにつながる可能性があります。

